

レオパレス事案への対応（全体像）

基本方針

- 賃貸共同住宅の入居者・所有者の安全・安心の確保
- 徹底した原因究明
- 再発防止策の検討

【基本姿勢】

（国土交通省） 外部有識者委員会に丁寧に方針を語りつつ対応。
 （レオパレス） 第三者の牽制・監視が機能した形での対応を指示。

賃貸共同住宅の入居者・所有者の安全・安心の確保

(1) レオパレス物件

- 所有者・居住者への丁寧な対応による混乱回避、調査・改修の加速を指示。 **P.3下段参照**
 - ① 既に不備が判明しているシリーズへの対応： 早期の全棟調査完了、夏前の全棟改修完了を指示。
 - ② その他のシリーズへの対応： 全シリーズに関し、調査を加速。不備が判明したシリーズは、夏前に調査完了、10月までに全棟改修完了を指示。その状況をシリーズ毎に公表。

(2) レオパレスを含む大手事業者に係る物件

- サンプル調査により、他の大手事業者も含め同様の事案が生じていないか調査し公表。品質管理に係る不備が判明した場合、改善を指導。

徹底した原因究明

- 可能な限り第三者性を確保した上で、現段階で明らかとなっている不備の原因究明結果の報告を指示（3月18日×切） **P.4参照**



再発防止策等の検討

- 外部有識者委員会（座長：秋山 哲一東洋大学教授）を立ち上げ、以下の項目について検討。 **P.2参照**
 - リスク情報の早期共有による不正事案拡大防止策の検討
 - 工事監理のあり方の検討（工場生産品の品質確保を含む）
 - 建築確認検査制度のあり方の検討
- 原因究明結果を踏まえたレオパレスへの対応について検討